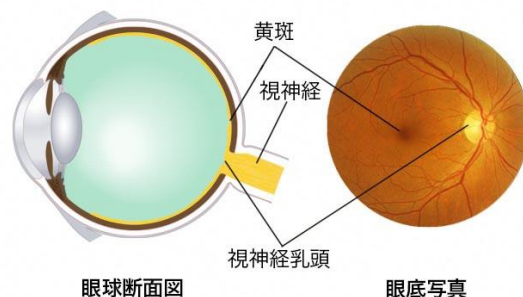


眼底検査とは

目の奥に光を当てて網膜・視神経乳頭・目の中の血管を直接観察する検査です。検査されたことのある方は、「まぶしい検査」と記憶されているかもしれません。



眼底検査でわかる病気

①緑内障

眼圧が高くなることによって視野が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気です。（日本人の失明する原因第一位）

②糖尿病網膜症

糖尿病の合併症で、自覚症状がないまま眼底出血が起こり、進行すると視力が低下し失明する可能性があります。

③加齢黄斑変性

加齢に伴い、網膜の中心である黄斑に出血やむくみをきたし、視力が低下する病気です。

④白内障

加齢によって水晶体が白く濁り、目がかすんで見えにくくなる病気です。

⑤網膜剥離

網膜が剥がれ、視野が欠けたり視野が低下したりする病気です。

⑥網膜血管の動脈硬化・閉塞（眼底出血）

体の外側から血管が直接見える唯一の場所で、全身血管の状態が予測できます。

**目の病気は自覚症状が無い場合もありますので
定期的に検査を受けることが大切です。**